

# 平成29年2月16日(木)～19日(日)開催 NPOマネジメントフォーラム2017

主催：内閣府、一般財団法人青少年国際交流推進センター

## 事業概要

本フォーラムは、高齢者分野、障害者分野、青少年分野における若手専門家・活動実践者の総勢約100名が、日本と外国から一堂に会するディスカッション型国際交流プログラム（英語不要・通訳付）です。NPOマネジメントフォーラム2017では、日本と英国、フィンランド、ドイツの高齢者・障害者・青少年分野の専門家及び活動実践者が一堂に会し、非営利団体で活躍する青年層がどのように地域の活性化に貢献できるかを議論します。

## 総合テーマ 「地域活性化に向けた非営利団体の事業展開と組織強化」



多くの先進国において、少子高齢化による人材不足は潜在的に潜む懸念であり、それに伴う地域サービスの縮小は地域の活力低下を招く恐れがあります。こうした事態を防ぐために、非営利団体は地域住民に対して直接的支援を行うことで、住民生活の質と暮らしの充実度を高め、地域の活性化に貢献することができます。同時に、非営利団体が自らの組織的機能を強化し、その対応力を向上させることは、地域における様々な事業を展開するうえで重要な基礎を成していると言えるでしょう。

参加者は、以下の三つのトピックグループに分かれ、各課題解決に向けた活動を行う際に有用な考え方や組立、効果的な実施に必要なスキルについて学びます。そして、参加者がフォーラム終了後に、各トピックで得た知見を活かしながら、各々の地域でより豊かな住民生活の実現に取り組むとともに、それを支える非営利団体の活動充実化に向けて行動していくことを目指します。

### トピック 1 多様な働き手の就業を支える環境づくり

少子高齢化に伴う人材不足を補い地域の活力を維持するには、就労意欲のある高齢者や障害者、困難を抱える青年層など、多様な働き手の参画が求められる。非営利団体は、こうした層に対して就業の第一歩を支援する取組を実施すると同時に、多様な人材の活用に苦心している事業所に対して雇用環境の整備や文化的素地の構築に向けた啓発と実施支援を行うことができる。本トピックでは、これまで生産性の担い手として認識されてこなかった人材を取り入れ、その能力を引き出すために有効な取組について事例を共有し、地域内の連携に求められる考え方や能力を理解することで、社会の構成員ひとりひとりが就労を通じて自立的に地域に貢献できる環境づくりを目指す。

### トピック 2 女性管理職育成による非営利団体の活動の充実

多くの先進国において、非営利団体の女性の雇用率は共通して高い。これは地域の健康福祉や教育など、女性の関心が高い分野において活動する非営利団体の率が高いことと関連している。その一方、非営利団体における女性の管理職登用率は各国においていまだに低い。高い資質や知見に加え意欲のある女性を、現場の活動のみならず団体内の意思決定や政治行政との連携の場においても登用していくことで、団体内の多様な活動展開や地域生活の向上を含めた新たな動きを生み出せる可能性がある。本トピックでは、女性管理職の育成に求められる団体内外の意識啓発と能力開発の取組について様々な事例を共有し、団体内の既存資源である女性の能力をより一層活かすことで、地域生活の改善とそれを支える非営利団体の組織的充実を目指す。※本トピックにおける管理職とは、経営者と一体的な立場を持つ管理監督者（課長など）に加え、係長、主任など事業の統括的役割の職位も含む。

### トピック 3 適切な成果評価による地域事業の拡大にむけて

非営利団体が地域の課題解決に資するためには、自団体の活動を適切に評価し、成果を見極めることが重要である。事業の効果を可視化した上で、客観的に分析し、その成果を公開していくことは、課題解決の現状を人々が理解し、自分たちの地域の課題解決の重要性を適切に認識することとなる。また、団体への社会的信頼を幅広く築くうえで重要な意味を持つ事に加え、新たに取り組むべき課題の認識や団体の活動の方向性を見極める根拠を得ることもできる。さらに、財政支援者に対して適切な報告を行うことにより団体の信用度が増し、将来的な財政基盤の強化にもつながる。本トピックでは、非営利団体が自らの活動を分析、評価、報告するにあたって重要な考え方やスキルを理解し、参加者が自団体において適切な評価の取組ができるようになるとともに、新たな活動を産み出す力につながることを目指す。



## スケジュール

2月16日(木) 出会う	2月17日(金) 学び合う	2月18日(土) 深める	2月19日(日) 繋げる
	開会式		成果発表の準備
	全体会 (各国の非営利団体事情 について)	ディスカッション	
	トピック別 オリエンテーション		成果発表会
受付開始(13:00～)	昼食	分野別昼食交流会	歓送昼食会
日本参加者研修 (13:30～) ※外国参加青年は視察 プログラムに参加中	ディスカッション ※各トピックに分かれて ディスカッション)	ディスカッション	評価会
夕食	夕食	夕食	修了式
全体 オリエンテーション ※外国参加青年との顔合わせ	文化交流会	成果発表の準備	解散(16:00予定)

※本フォーラムは、平成28年度地域課題対応人材育成事業「地域コアリーダープログラム」の一環として行われます。

## 過去の参加者の声

ドイツ、オーストリア、英国及び日本における非営利団体の歴史は長く、非営利分野は経済的、社会的にますます重要な要素になっている。同時に、同分野は極めて複雑であり、法的地位や経済背景、専門的資格も様々な組織からなっている。そのため、NPOマネジメントフォーラム開会式での導入講義は非常に有益で、日本と各国の非営利団体の実情について情報を得ることができた。また、ディスカッショントピックでの共同作業を通じて、非営利団体の事業連携に向けた様々な取組について理解を深めることができた。

ドイツ高齢者市民団体全国協議会 (BAGSO)  
医療・長期介護・高齢者政策担当  
クラウディア・カイザー (平成27年度青年社会活動  
コアリーダー育成プログラム、ドイツ団長)



NPOマネジメントフォーラムへの参加を通じて、これまで学校教育の現場で各種機関や専門家と連携・協働しながら取り組んできた教育活動の意義とさらなる可能性をしっかりと確認することができた。フォーラム後には、学んだことを実践に移し、NPOとの協働のもと助成プログラムに採用されて、自身のスキルが向上すると同時に、所属先である学校の活動も活性化された。国内外の参加者と意見や手法・実践に関する情報を交換することで、参加者は自らの視野をその縦軸横軸において広げられることと確信している。

岡山市立旭東中学校教諭 (ESD担当)  
(参加当時は岡山市立京山中学校教諭・研究主任)  
竹島潤 (NPOマネジメントフォーラム2016参加者)



## 昨年度の外国参加青年所属 (抜粋)

- ・ ハノーバー市地域高齢者サービス高齢者課(ドイツ)
- ・ アルツハイマー協会シュレーヴィヒ=ホルシュタイン州支部(ドイツ)
- ・ フランクフルト高齢者及び障害者福祉協議会(ドイツ)
- ・ エイジUK(英国)
- ・ ユア・ハウジング・グループ(英国)
- ・ 障害児協議会(英国)
- ・ トランSPORT・フォー・オール(英国)
- ・ オーストリア視覚障害者連合(オーストリア)
- ・ 社団法人ホリゾン・ノルトハウゼン(ドイツ)
- ・ スポーティング・コミュニティーズ・コミュニティ利益会社(英国)
- ・ アンソニー・ノーラン(英国)
- ・ セーブ・ザ・チルドレン・ザルツブルク(オーストリア)
- ・ ウィーン・ユース・センター協会(オーストリア)
- ・ ウィーン市青少年・家族部(オーストリア)

応募・問い合わせ先：一般財団法人青少年国際交流推進センター

応募方法：[応募要項](#)をご覧ください。

応募締切：平成29年1月16日(月) 午前10時